



「現場から多文化社会を考える」 ともに生きる地域づくり

入場
無料

申込
不要

定員
250名

2010年

12月5日(日)

13:30 ~ 16:45
(13:00 開場)

会場

キャンパスプラザ京都 第1講義室

〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る

主催：京都文教大学人間学部文化人類学科

共催：地域公共人材大学連携事業、日本文化人類学会近畿地区研究懇談会

後援：京都府、京都市、宇治市、国立民族学博物館、NPO 法人 宇治大好きネット、NPO 法人 まちづくりねっと・うじ、宇治国際交流クラブ

まち ともに生きる地域づくり ー現場から多文化社会を考えるー

グローバル化が進むなかで、今や日本に暮らす外国人の総数は 200 万人を越えています。わたしたちが生活の拠点をおく地域にも、**オールドカマー** とよばれる **中国** や **朝鮮半島出身** の人々、**ニューカマー** の中心である **日系ブラジル人**、そして残留孤児とよばれた **中国帰国者** など、さまざまな国籍や異なる文化背景をもつ人々がともに暮らしています。同じ「まち」の住民として、国籍や文化の違いを越えて、互いを尊重し合いながらともに生きる地域づくりを目指すことこそ、多文化共生の豊かな社会づくりへの一歩といえるでしょう。

このシンポジウムでは「**現場の声**」にこだわります。地域の皆さん、行政の職員、大学の研究者、そしてシンポジウム参加者の皆さんが一緒になって、地域社会の現状を理解し、現場が求める **多文化 / 多元的共生のあり方** について議論したいと考えています。ひとつの答えを出す場ではなく、多文化 / 多元的共生の地域の実現のためにわたしたちにできることを、**考える機会** にしたいと思います。

プログラム

13:00 開場

13:30 ~ 14:15 第1部 基調講演

冒頭挨拶 柏岡 富英 (京都文教大学人間学部 現代社会学科・教授)

趣旨説明 松田 凡 (京都文教大学人間学部文化人類学科・教授)

基調講演

「**社会のユニバーサルデザインとしての多文化共生**」

池上 重弘 (静岡文化芸術大学文化政策学部国際文化学科長・教授)

14:25 ~ 15:45 第2部 事例報告

報告1 「**異文化に生きる住民との共生について考える：
京都府営団地自治会の取り組みをめぐって**」

奈倉 京子 (京都文教大学人間学部文化人類学科・教務補佐)

報告2 「**医療通訳をはじめとする取り組み**」

重野 亜久里 (NPO法人 多文化共生センターきょうと・代表)

報告3 「**ケミカルシューズ工場の現場から多文化状況を考える**」

野上 恵美 (神戸大学大学院国際文化学研究科・博士課程)

報告4 「**中華街から見た日本の現在、過去、未来**」

陳 天璽 (国立民族学博物館先端人類科学研究部・准教授)

15:55 ~ 16:45 第3部 パネルディスカッション

コーディネーター：池上 重弘

パネリスト (五十音順)

岡田 浩樹 (神戸大学大学院国際文化学研究科・教授)

重野 亜久里 (NPO法人 多文化共生センターきょうと・代表)

杉本 星子 (京都文教大学人間学部文化人類学科・教授)

高橋 昭二 (京都市総合企画局国際化推進室・交流推進担当課長)

陳 天璽 (国立民族学博物館先端人類科学研究部・准教授)

総合司会：佐藤 知久 (京都文教大学人間学部文化人類学科・准教授)

問合せ先

京都文教大学 研究支援課

Tel : 0774-25-2454

E-mail : egp-sympo@po.kbu.ac.jp

〒611-0041 京都府宇治市槇島町千足 80



基調講演者プロフィール

池上 重弘

静岡文化芸術大学文化政策学部国際文化学科長・教授、

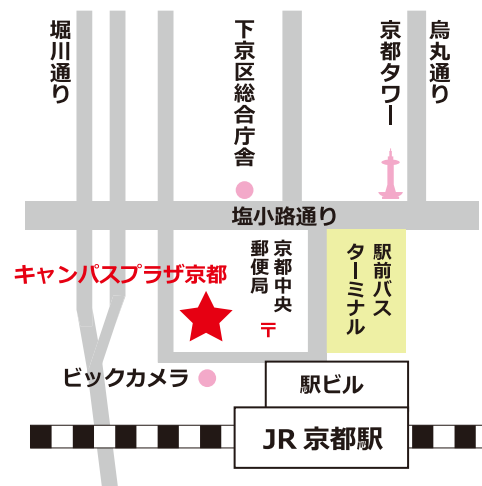
総務省「多文化共生の推進に関する意見交換会」メンバー。

現在の研究課題は、グローバル化時代における人の移動と多文化社会の形成、日本社会における多文化共生の地域づくり、インドネシア、トバ・バタック社会の文化的動態。

教育GP「文化コーディネーター養成プログラム」

本プログラムは、文化情報を扱うための知識や能力を持ち、文化と文化、人と人、情報・知識・技術をつなぎ、地域を活性化させる創造的な人材である「文化コーディネーター」の養成を目的としています。今回のシンポジウムでは、多文化 / 多元的共生が可能な地域づくりに向けて文化コーディネーターが担う役割についても考えていきたいと思っています。

アクセス



キャンパスプラザ京都 5階 第1講義室

(JR京都駅ビル駐車場西側、ビックカメラ向かい)

〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る